

研究協力のお願い

この度、当院 / 本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科大学附属病院 / 大阪医科大学

麻酔科・ペインクリニック / 麻酔科学教室

記

研究課題名：	肺手術後の残存肺の代償性膨張における形態学的特徴の調査
研究の目的：	本研究は、肺の手術を実施された患者さんを対象とした臨床研究です。肺切除後、残った肺は、切除された空間を埋めるように偏位し、その容積は代償性に増加します。容量増加した肺の形態学的特徴を調査することが本研究の目的です。
研究の意義：	術後の肺機能の回復のために代償性肺容量の増加の程度は重要ですが、例えば肺気腫の患者さんにおいては、正常肺野が増加するのではなく気腫性病変が増加する可能性があります。本研究では、残存肺の容量をコンピュータ断像撮影法(CT)画像の再構築アプリケーションを用いて解析することで、正常肺と気腫性病変部分を正確に測定し、その分布様式を解析します。手術後の残存肺の代償性容量増加における経時的な形態学的特徴を把握します。
研究の対象：	下記の該当期間に肺腫瘍により肺切除術を施行された患者様
該当期間：	2014年1月1日 ~ 2020年7月7日
研究の方法：	すでにある患者診療録と放射線画像を参照してデータを収集する後方視的観察研究です。胸部 CT 画像上で Synapse VINCENT®の肺解析機能を使用することで、肺容量、気腫性病変（低吸収域）、間質性病変（高吸収域）の容量を算出します。術直前、術半年後から術5年後に撮影された胸部 CT 画像

	を用いて肺解析を行います。また、呼吸機能検査、術中の血液ガス検査を含む麻酔記録のデータも参照します。	
研究期間：	研究実施許可日	~ 2025年7月6日
<p>個人情報の利用目的、開示等の求めに応じる手続き：</p> <p>対象者の方を特定できないように対処したうえで、本臨床研究の成果を学会や論文等で公表します。対象者の個人情報については、麻酔科学医局内においてパスワードをかけた状態で保管、匿名化した上で取り扱います。対象者の方（その代理人）より、本研究で保有する個人情報の開示を求められた場合には、対象者の方（その代理人）の同意する方法により情報を開示いたします。</p>		
<p>個人情報の取り扱いに関する相談窓口：</p> <p>大阪医科大学 麻酔科学教室</p> <p>担当者：中平 淳子 TEL：072-683-1221（代表）内線：6304</p>		
<p>利益相反について：</p> <p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>		
研究者名：	麻酔科学	講師 中平 淳子
	麻酔科学	特別任命教員教授 日下 裕介

本研究にて取得しました情報は、厳重な管理を行い、本研究以外の目的では利用いたしません。

対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究計画及び方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出をされた場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学 麻酔科学教室

（大阪医科大学附属病院 麻酔科・ペインクリニック）

担当者： 中平 淳子

T E L： 072-683-1221（代表）

内 線： 6304